機密保持契約

Mk_3 を運用する株式会社丹青社（以下、「甲」という。）と登録会員（以下、「乙」という。）とは、Mk_3 で取り扱われる活動（以下、「本活動」という。）の機密を保持させることを目的として、下記の通り機密保持に関する契約を締結する。

（機密情報）

第1条 本契約において機密情報とは、甲が乙に開示する一切の情報及びこれに関連して乙が知り得た一切の情報をいう。但し、情報が以下に該当する場合は、この限りではない。

- (1) 公知の情報または甲より開示された後、乙の責によらず公知となった情報。
- (2) 甲より開示された時、既に乙が取得していた情報。
- (3) 法令に基づき行政当局または裁判所から開示を義務付けられた情報。

（機密保持）

第2条 乙は、機密情報を本活動の遂行目的のみに使用し、その他の目的に使用してはならない。

2. 乙は、甲の事前の承諾を得ることなく、機密情報を第三者に開示してはならない。
3. 乙は、甲の事前の書面による承諾を得ることなく、機密情報を本活動以外で複写、複製してはならない。
4. 乙は、会員退会後においても、機密情報に対する機密保持の義務を負うものとする。

（管理）

第3条 乙は、機密情報を機密にしておくために合理的な安全保障の予防措置を取らなければならない。

（破棄等）

第4条 乙は、本活動が終了した場合または甲から要求があった場合には、直ちに機密情報（複製物を含む）を甲に返還するかまたは廃棄するものとし、一切のこれらの資料を保管保持しないものとする。

（損害賠償）

第5条 本活動の遂行上、乙の責に帰すべき事由により、乙が、甲または第三者に損害を及ぼした場合、および本契約に違反して甲に損害を与えた場合には、乙は相当因果関係にある損害賠償義務を果たすものとする。

(事故報告)

第6条 乙は、機密情報を漏洩し、または開示目的を超えまたは開示目的と異なる目的で機密情報を加工、利用、複写、複製した（以下、「漏洩等」という。）場合には、直ちにその旨を甲に報告しなければならない。

2. 漏洩等の場合、乙は、甲が要求するすべての事項について直ちに調査を行い、甲に報告しなければならない。また、甲の指示に従い、漏洩等を防止し開示目的外での利用を停止する措置を取らなければならない。
3. 漏洩等の場合、乙は、甲が指定する方法、時期および内容で、漏洩等にかかる事実を公表しなければならない。
4. 前各項に拘わらず、乙は、乙の責によらずに機密情報が漏洩等していることを覚知した場合でも、遅滞なく甲に報告しなければならない。

(有効期間)

第7条 本契約は、本契約締結日以降に行われるすべての本活動について適用するものとする。

(協議)

第8条 本契約に定めのない事項または本契約の解釈等に疑義が生じた時は、双方が誠意をもって協議し、円満な解決を図るものとする。

本契約の締結の証として、乙は会員登録フォームの「機密保持契約の合意確認」において合意を選択した上でフォームを送信する。登録フォームを甲が受信した時点で契約は締結されたものとみなす。

甲 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F
株式会社 丹青社
代表取締役社長 小林 統

乙 オンライン登録フォームによる